

課題の対応	1-14, 15	目標時期	平成 30 年度以降	実施機関	取手市
具体的取組	「逃げキッド」を利用した出前講座の実施。付随してマイタイムラインリーダー制度の運用。				

H30 年度までの実施状況



逃げキッドとは、鬼怒川・小貝川流域減災対策協議会にて作成された、マイ・タイムライン検討ツールであり、現在構成自治体において、マイ・タイムライン講座を開催しております。

取手市において既に「洪水時におけるタイムライン」を作成しておりますが、この逃げキッドは市民一人一人が自分自身にあったマイタイムライン作成の手助けをするためのキッドとなっております。

また、このマイ・タイムライン講座の講師に関して、河川事務所の職員や自治体職員だけではなく、マイタイムラインリーダー制度を作り、市民の方に講師をしていただくという制度も併せて行っております。

平成 30 年度の実施状況（合計 3 回）

- ・自治会 1 回
- ・小学校 1 回
- ・市民団体 1 回

逃げキッドの中身

- マイ・タイムライン作成のためのチェックシート
- 「台風発生」から「川の氾濫」するまでを知ろう！
- 「台風発生」から「川の氾濫」するまでの備えを考えよう！
- 「マイ・タイムライン」を作ってみよう！（シール付き）
- ご自宅に戻ったら見直しましょう
- みんなでつくろう！マイ・タイムライン
～作るためのヒント集～

逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み										
課題の対応	1-2 1-9 1-22	目標時期	H29年度から 順次実施	実施機関	龍ヶ崎市					
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ●利根川・小貝川洪水浸水想定区域対象地区(北文間地区)にてマイ・タイムライン作成講座を実施(平成30年6月17日) ●国と連携して水害タイムライン(台風想定)及びマイ・タイムライン検証訓練を実施(平成30年7月1日) ●要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の支援(平成30年5月24日) 									
H30 年度までの実施状況										
<p>1. マイ・タイムライン作成講座の実施(北文間地区 平成30年6月17日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年11月に実施した川原代地区に続き、利根川・小貝川の洪水浸水想定区域対象地区である北文間地区住民(24名)に対し、市職員をファシリテーターとしたマイ・タイムライン作成講座を実施。 ・市洪水ハザードマップ「防災の手引き」を活用して自分の住んでいる地域の洪水リスクの把握を図った。 ・右写真参照 <p>※令和元年度には利根川・小貝川の洪水浸水想定区域対象地区である大宮地区にて水害タイムライン(台風想定)に基づく住民避難訓練実施後、マイ・タイムライン作成講座を実施予定(6月～7月頃実施予定)この際、要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の支援を行う予定。</p>							 <p>【マイ・タイムライン作成講座(北文間地区)開催の様子】</p>			
<p>2. マイ・タイムライン検証訓練の実施(平成30年7月1日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年11月にマイ・タイムライン作成講座を実施した川原代地区住民を対象に実施 ・進行の流れは、市水害タイムラインに基づく住民避難訓練の後、マイ・タイムラインに沿った避難訓練を実施した。 ・国土交通省下館河川事務所，一般財団法人 河川情報センターと連携して実施 ・参加機関：龍ヶ崎市，稲敷広域消防本部(龍ヶ崎消防署)，竜ヶ崎警察署，龍ヶ崎市消防団，竜ヶ崎工事事務所，市建設業組合等水害タイムライン関係機関 ・参加住民人数は約50名 ・右写真参照 							 <p>【マイ・タイムライン検証訓練の様子】</p>		 <p>【市災害対策本部長(龍ヶ崎市長)のホットライン通話の様子】</p>	
<p>3. 要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の支援(平成30年5月24日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護老人保健施設けやきの郷にて洪水時の避難確保計画に基づく訓練を実施 ・市職員が訓練を見学し、施設を利用する避難行動要支援者の避難受入れ・誘導方法等について助言し、避難確保計画のさらなる改良を支援。 ・右写真参照 							 <p>【要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の支援の様子】</p>		 <p>【要配慮者利用施設内託児所児童の避難の様子】</p>	

逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み						
課題の対応	1-1	目標時期	H28年度から 順次実施	実施機関	稲敷市	
具体的取組	① ジュニア防災検定への取組 ② 平成30年度 稲敷市防災訓練					

H30 年度までの実施状況

① ジュニア防災検定への取組

検定の構成には、筆記試験だけでなく、家族防災会議レポートや防災自由研究が含まれており、子どもたちが防災への意識を高めるために大変有意義な内容となっております。

稲敷市では、子どもたちが自分自身で考え、判断し、行動できる「防災力」を身につけることを目的として、平成 27 年度から受験料を予算化し、市内全ての小学校5年生が受験しております。

平成30年度は、294人の児童が受験し、全員が合格しました。

- 合格率・・・100%
- 成績優秀賞・・・3人
- 防災自由研究優秀賞・・・12人
- 家族防災特別賞・・・14人



平成31年3月24日 表彰式
東京ガーデンパレスにて

また、稲敷市全体の取組が評価され、「自治体表彰」を受賞しました。
稲敷市 山本照夫教育長が表彰状を授与されました。

② 平成30年度 稲敷市防災訓練

平成31年2月2日(土) 新利根総合運動公園をメイン会場とし、風水害による土砂災害を想定し、防災訓練を実施しました。近隣住民の方による避難訓練のほか、重量物除去、AED、応急担架、初期消火といった各種訓練のブースを設け、消防署職員による指導のもと、来場いただいた方に、実際に体験していただきました。



↑ 災害対策本部設置



↑ AED講習

③ 洪水ハザードマップの更新

昨年度、利根川水系および霞ヶ浦の最大浸水区域の見直しにともない、稲敷市地域防災計画の見直しを実施したところです。

これに引き続き、平成30年度においては、洪水ハザードマップの更新を行いました。稲敷市の管内図を中心としながら、隣接市町村の浸水想定区域も含めたマップとし、「大規模洪水時における広域避難の連携に関する協定」に基づく避難所等を掲載しております。

市内全戸に配布をしました。

まるとまちごとハザードマップの取り組み

課題の対応	1-21	目標時期	H30年度から 順次実施	実施機関	河内町
-------	------	------	-----------------	------	-----

具体的取組	想定浸水深標識の設置				
-------	------------	--	--	--	--

H30年度までの実施状況

・概要

洪水に関する情報の普及を目的として、多くの町民が日常的に利用する公共施設及び幹線道路の電柱に想定浸水深標識を設置した。

・効果

想定浸水深標識を「まちなか」の目につく場所に設置することにより、日常から洪水への意識を高め、洪水発生時の安全かつ迅速な避難行動につなげることができる。



公共施設(10ヶ所)



電柱(10ヶ所)

災害に迅速かつ効果的に対応するための組織再編及び住民避難力強化事業

課題の対応	1-1	目標時期	H31年度 実施	実施機関	茨城県
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ●水害等の減災・防災を担当する「水防災・砂防対策室」を組織再編により設置。県管理河川における減災・防災のための取組の強化を図る。 ●水害時の「逃げ遅れ」を防止するため、「マイマップ」や「マイ・タイムライン」の作成支援を実施 				

H30 年度までの実施状況

災害に迅速かつ効率的に対応するための組織再編

○組織再編を行い、土木部河川課に「水防災・砂防対策室」を設置(平成31年度より)

■水防災・砂防対策室の設置

近年水害等が激甚化していることから、災害時はもとより、減災・防災のための取組の強化が求められている。



上記を踏まえ、平成31年度から河川課のダム砂防室と災害グループを再編し、新たに「水防災・砂防対策室」を設置。水害等の減災・防災を担当する当室の設置により、県管理河川における減災・防災のための取組の強化が図られる。



河川課組織図

住民避難力強化事業

茨城県防災・危機管理部防災・危機管理課防災G (029-301-2880)

水害時の「逃げ遅れ」を防止するため、治水の優先度が高い地域の住民を対象とした「マイマップ」や「マイ・タイムライン」の作成支援等を通じて、避難力の強化を図ります。

- 事業内容
 - ・堤防未整備など治水の優先度が高い地域において、避難に対する住民の意識向上を図るため、ハザードマップの有無など地域の状況に応じ、ワークショップ形式で次の取組を組み合わせ実施
 - ①マイマップ作成(地域の危険箇所や安全な避難経路を記した地図を近隣住民同士で作成)
 - ②マイ・タイムライン作成(自分が水害時に何をすべきかを時系列に一覧表に整理)
 - ③災害・避難カード作成(避難のタイミングや緊急連絡先等を携帯可能なカードに記入)
- 対象地域
 - ・特に治水優先度の高い地域(洪水予報河川、水位周知河川の重要水防箇所に近接する地域)
 - ⇒ 上記①、②、③を実施
 - ・治水優先度が高い地域(その他の河川の重要水防箇所に近接する地域)
 - ⇒ 上記②、③を実施

※H31年度中にすべての地域で実施完了予定



ワークショップのイメージ

課題の対応	1-6	目標時期	平成31年度	実施機関	船橋市
具体的取組	洪水ハザードマップ等で想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表・周知する。				
H30 年度までの実施状況					
<p>平成29・30年度に実施した防災アセスメント調査の結果を踏まえ平成30年度に作成した地区別防災カルテにおいて、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表し、市ホームページでの公開、市立図書館及び行政資料室に配架しており、市民の方が自由に閲覧可能である。</p>					